



母の日  
ボクはママに  
マカロンを  
プレゼント  
したよ♡

# はぐ便り

2021年  
5月号  
【第83号】

こんにちは！新型コロナウイルスの影響が続く、花見もままならず、今年の春もあつという間に…。昨年度は学校行事や子ども会活動も中止になったり、内容を変更せざるを得なかったりするものが多かったですね。各種イベントや体験学習、子ども会活動の意義について、改めて考えさせられる機会にもなりました。

## 『子ども会』ってなあに??

子ども会とは、同じ地区に住む異なる年齢の子どもたちが、様々な活動を通して楽しく交流し、成長していく場です。地域の一員として行事に参加することで地域への愛着を深めたり、学校や家庭では得られない体験ができるなど、子どもの成長に欠かせない貴重な学習機会となっています。また、活動を通して、ご近所の方とのつながりを作るきっかけにもなります。お互いに助け合う関係を築くことができるという点も、災害時や防犯面において大きなメリットですね☆

ところで、みなさん「子ども会行事」は何をしていますか？本来は子どもたちが協力して、子どもたちの手で計画実行する子ども会行事が理想ですが、現実的にはなかなか難しいものですね。育成会や世話人のみなさんになるべく子どもたちに役割を与えたり、考えさせたりして、子ども会を運営することが大切だと感じています。

また、盛岡市には、子ども会活動を支援してくれる「少年指導員」がいます。現在約130名の方が登録していて、ボランティアで活動されています。詳しくは各子ども会育成会に西已布している「子ども会ハンドブック」に載っていますので、ぜひお声をかけてみてください。ご不明な点がありましたら、生涯学習課までお問い合わせください。※「子ども会ハンドブック」は盛岡市ホームページにも掲載しています。（少年指導員名簿は各子ども会育成会西已布分の紙媒体のみに掲載）

## 子ども会活動と感染予防策

子どもたちの安全のために、どんなに感染予防策を講じても感染の危険を回避できないものについては、中止という判断もやむを得ないものと思います。日々変わる感染状況の中、判断が難しく、保護者の方々も大変な思いをされていると思います。

盛岡市では、コロナ禍での町内会・自治会の地域活動を支援するため、「新しい生活様式」に基づく、盛岡市地域活動事例集を発行しました。各種活動や会議を開催する際の感染予防策などを掲載していて、子ども会活動にも応用できる内容となっています。市のホームページに掲載していますのでご覧ください。

コロナ禍ではありますが、できる工夫をして、できる範囲で、そして子ども会・育成会の活動に誇りをもって活動していけたらよいですね！



じじいばあ  
い仲良くなるほど  
子はなまる



ママー！  
このプリン  
あめです！  
わがね！  
なげろべ！！

「はぐ川柳」募集中です☆

## 【情報メディアコラム】 スマホやゲームとどう付き合う??

コロナ禍でうち時間が増え、お子さんのスマホやゲームとの付き合い方について悩んでいる親御さんはいませんか？依存症、視力低下、ゲーム障害など、怖い言葉を耳にすることも増えてきました。

以前、研修会でお聞きした、未来の風せいわ病院理事長の智田文徳先生のお話などをヒントにしながら、情報メディアとの付き合い方について、毎月ご紹介します☆子どもたちの未来のために、スマホやゲームとの付き合い方について、少し考えてみませんか？

### ◎「好き」と「依存」の違いは…？

ゲームやネットが「好き」で「やりすぎる」として「依存」は違います。注意されてやめられるなら、それは依存ではありません。ただし注意されてやめたとしても、暴言を吐いたり、暴力をふるったりするのは「依存」の可能性が高いと言えます。次回➡「どうして依存してしまうの??」